

様式1実習 その1

2014年度DPC研究班夏季セミナー
産業医科大学公衆衛生学教室
村松圭司

- 以下の時間は同一の実習を行います
 - 14:45-15:45 様式1演習①
 - 16:00-17:00 様式1演習①
- 様式1分析の初学者を対象とした実習です
 - 新しい様式1について
 - 新しい様式1を平成25年度以前の様式1のフォーマットに変更する方法について
 - 変換したデータを用いた様式1分析

実習に必要なPC・ソフトウェア



- オペレーティングシステム:
 - Windows® 7以降
 - Mac OS, Linux各ディストリビューションでの実習はできません。
- Microsoft Office® Excel ®
 - 2010以降推奨 2007も対応します
- Microsoft Office® Access ®
 - 2010以降必須
 - お持ちでない方は次頁をご参照ください

Access® RunTime



- Access®がフルインストールされていなくても、実行形式のファイルを開くことができます
- 下記からダウンロード・インストールしてください
- <http://bit.ly/1oiqtr1>
 - このファイルではAccess® RunTimeのダウンロード・インストール方法は解説いたしません。
 - 実習はAccess®ファイルを開くことができる前提で行います。予めインストールをお願いいたします。

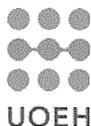
本実習のファイル一覧



- 20140821村松.pdf → このファイル
- FF1
 - 1401-03
 - FF1_409999999_1401.txt
 - FF1_409999999_1402.txt
 - FF1_409999999_1403.txt横持ち様式 1
 - 1404-06
 - FF1_409999999_1404.txt
 - FF1_409999999_1405.txt
 - FF1_409999999_1406.txt縦持ち様式 1
- FF1de.zip → Accessファイル格納ZIP
- oFF1.xlsx → 課題3で使用するexcelファイル
- 完成形
 - all.txt
 - oFF1.xlsx演習終了時にはこのファイルが出来ます

334

演習課題



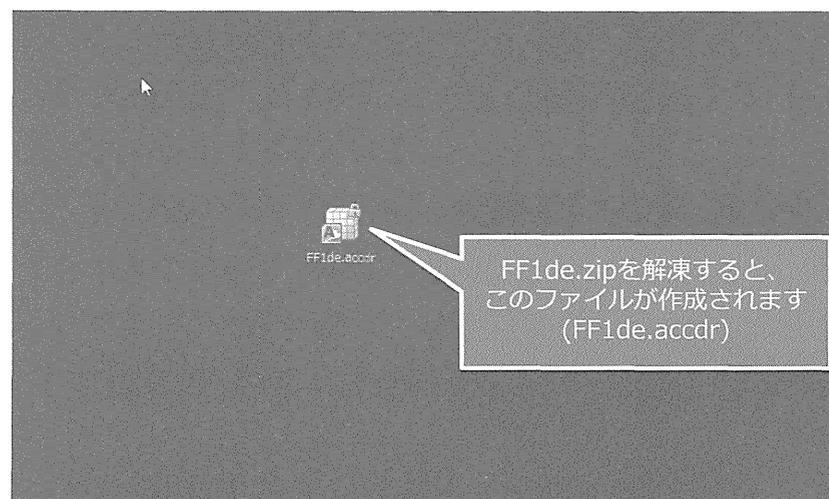
- 課題 1
 - ダミー様式 1 を配布します
 - 2014年4月~6月退院分の様式 1 を変換しましょう
- 課題 2
 - 全ての横持ち様式 1 を連結しましょう
- 課題 3
 - Excelで読み込んでピボットテーブルを作成しましょう

様式 1 「退化」 ツール

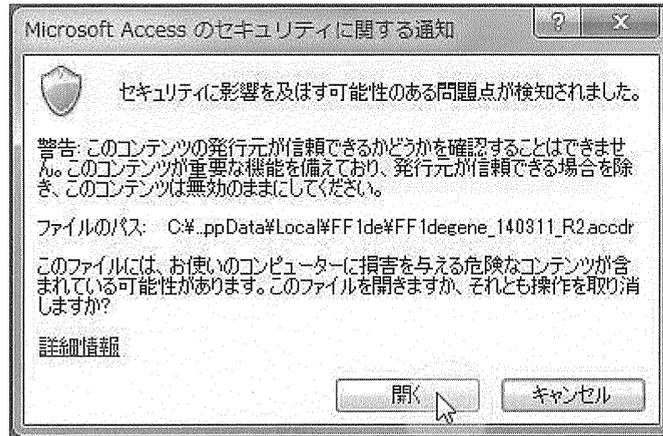


- FF1 degenerator
 - 縦持ち様式 1 (エラーチェック前) を横持ち化します
 - 縦持ち様式 1 の仕様は「平成26年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料(平成26年5月1日版)」を参照しました
 - http://service.prrism.com/dpc/setsume_i_20140501.pdf
 - 横持ち様式 1 の仕様は「平成25年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料(平成25年4月1日版)」を参照しました
 - http://service.prrism.com/dpc/setsume_i_20130401.pdf

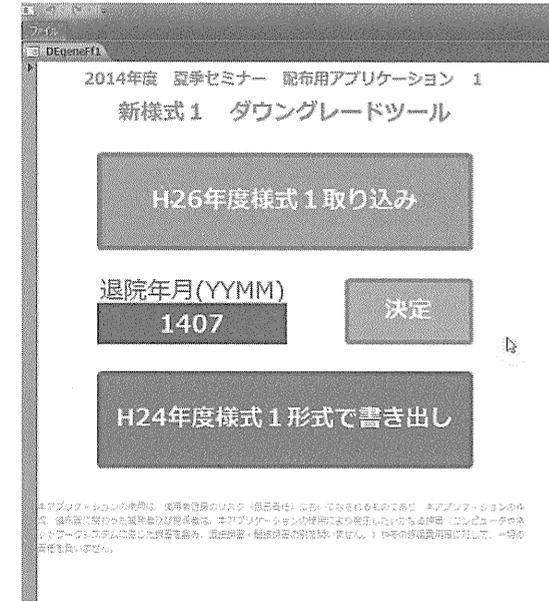
Accessファイルの解凍



起動画面



起動画面

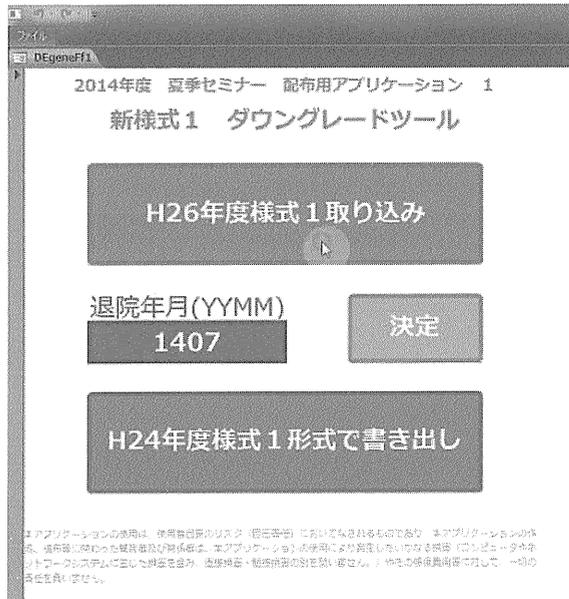


課題 1

課題 1

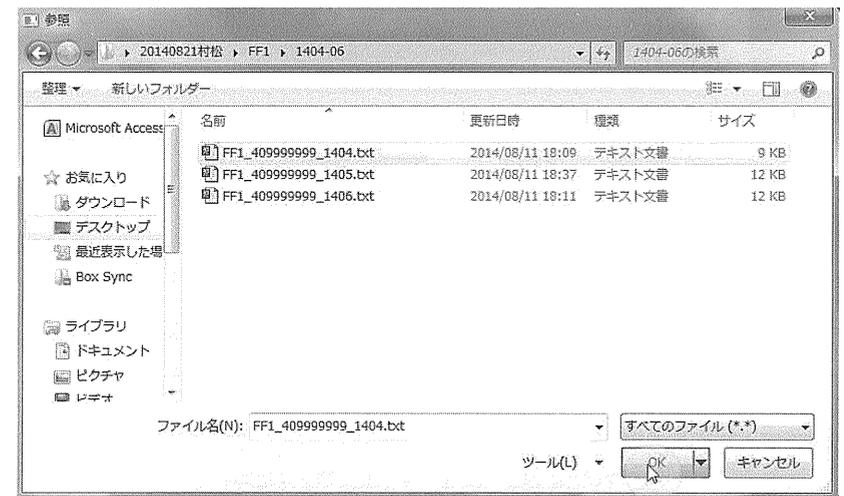
335

縦持ち様式1の取り込み



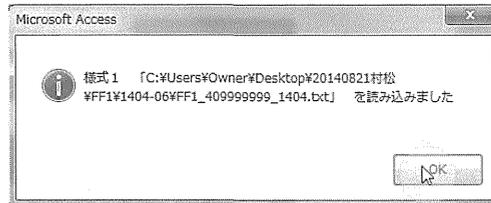
課題 1

縦持ち様式1の取り込み

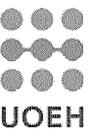


課題 1

縦持ち様式 1 の取り込み



退院年月の設定



336

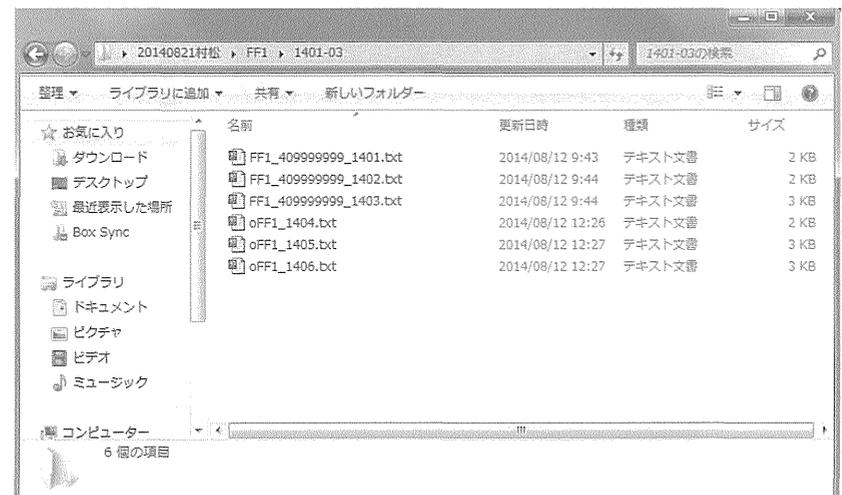
横持ち様式 1 の書き出し

課題 1



横持ち様式 1 の書き出し

課題 1

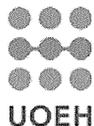


配布資料FF1→1401-03フォルダ内に変換した4-6月分を格納してください

課題 1

課題 1

様式 1 の結合

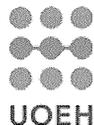


- 旧様式 1 と変換した新様式 1 を結合します
- コマンドプロンプトを使用します
 - 起動方法
 - Windows 7; スタートメニュー→全てのプログラム→アクセサリ→コマンドプロンプト
 - Windows 8; スタートメニュー→全てのアプリ→コマンドプロンプト

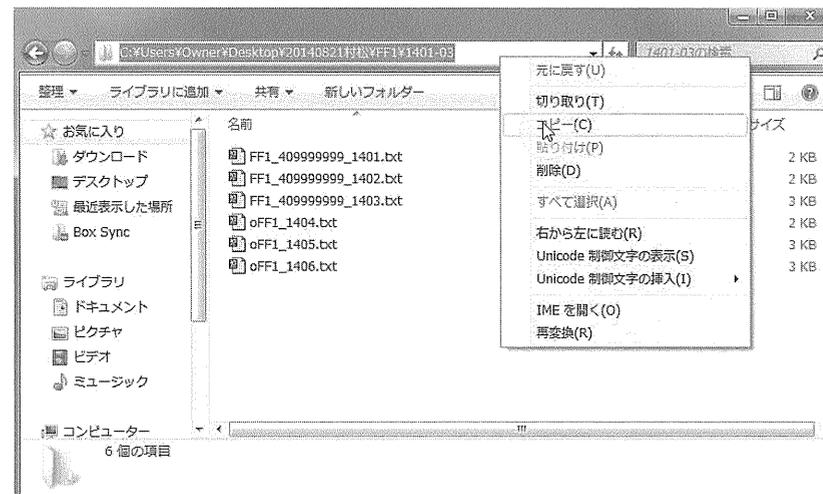
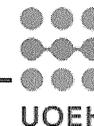
337

課題 2

カレントディレクトリの移動



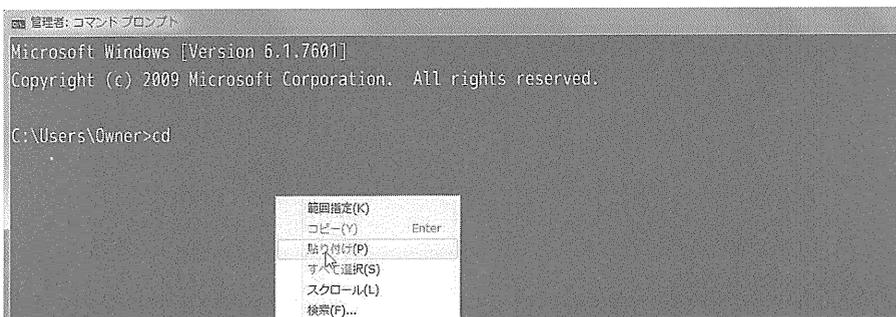
1401-03のフルパスをコピー



cd 配布したoFF1フォルダ

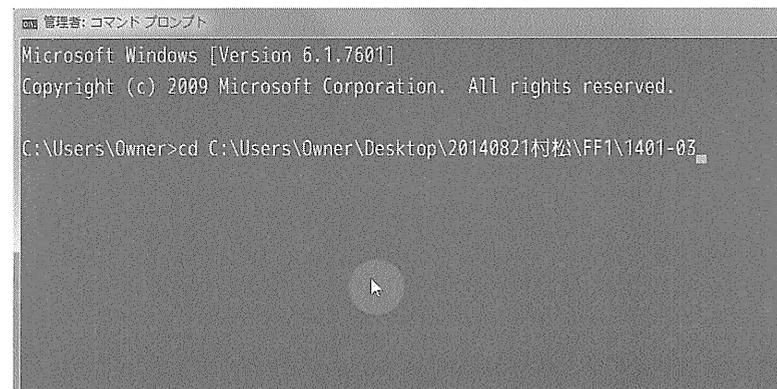
課題 2

カレントディレクトリの移動



cd (右クリックで貼り付け)

課題 2



cd (右クリックで貼り付け)

課題 2

```

管理: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Owner>cd C:\Users\Owner\Desktop\20140821村松\FF1\1401-03

C:\Users\Owner\Desktop\20140821村松\FF1\1401-03>
    
```

```

管理: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Owner>cd C:\Users\Owner\Desktop\20140821村松\FF1\1401-03

C:\Users\Owner\Desktop\20140821村松\FF1\1401-03>copy *.txt all.txt
    
```

338

課題 2

copy *.txt all.txt

課題 2

作業終了

ピボットテーブルの作成

```

管理: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Owner>cd C:\Users\Owner\Desktop\20140821村松\FF1\1401-03

C:\Users\Owner\Desktop\20140821村松\FF1\1401-03>copy *.txt all.txt
FF1_409999999_1401.txt
FF1_409999999_1402.txt
FF1_409999999_1403.txt
oFF1_1404.txt
oFF1_1405.txt
oFF1_1406.txt
1 個のファイルをコピーしました。

C:\Users\Owner\Desktop\20140821村松\FF1\1401-03>
    
```

- 今回は機能評価係数Ⅱに含まれる予定の病院指標のテーブルを作成しましょう

参考：現在提唱されている指標（7項目）

- 1) 年齢階級別退院患者数
- 2) 診療科別症例数トップ3
- 3) 初発の5大癌のUICC病期分類ならびに再発患者数
- 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- 5) 脳梗塞のICD10別患者数
- 6) 診療科別主要手術の術前、術後日数 症例数トップ3
- 7) その他（DICの請求率等）

課題 2

課題 3

脳梗塞のICD10別患者数



5) 脳梗塞の ICD10 別患者数

脳梗塞 (DPC 010060) の病型別の患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を示す。それぞれ発症3日以内とその他に分けて記載する (脳梗塞に至らなかったものやもやもや病は除く)。

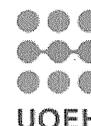
定義: 統括診療統括番号が0、(A、B 等がある場合はアルファベットが最後のもの) の最も医療資源を投入した傷病名の脳梗塞 ICD10 の上3桁で集計する。院内発症の脳梗塞においては発症日を開始日とする (他疾患によるもとの入院日ではない) が、この日付けは一般には様式1にはないため集計が難しい場合は対象外として症例数等を別記してもよい。

ICD-10	傷病名	発症日から	症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	3日以内				
		その他				
G46\$	脳血管疾患における脳の血管 (性) 症候群	3日以内				
		その他				
I63\$	脳梗塞	3日以内				
		その他				
I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内				
I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内				

注) H26改定で010060はI63\$のみになりました。

課題3

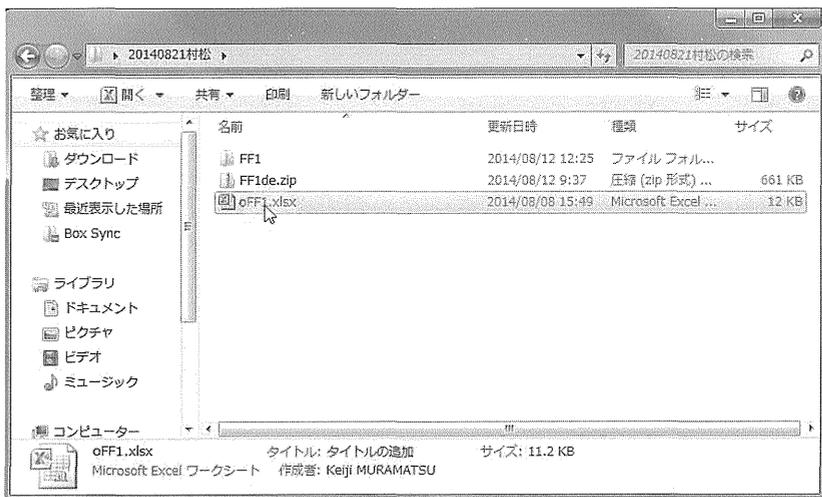
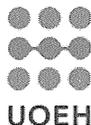
結合した様式1の読み込み



- 配布したエクセルを開きます
 - 旧 (横持ち) 様式1の列名のみ格納しました
- テキスト読み込みで先ほど結合したファイルを読み込みます

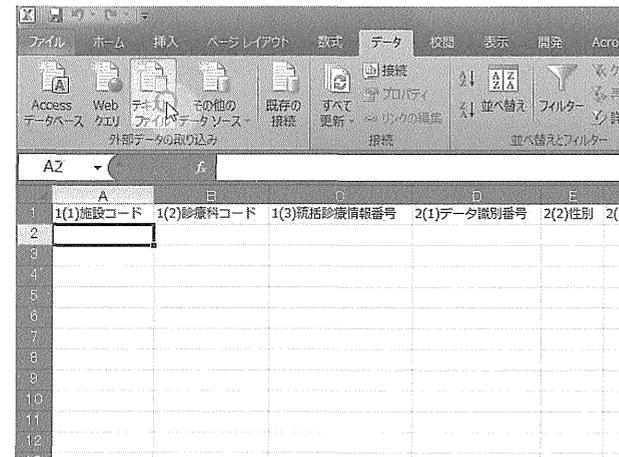
339

oFF1.xlsxを開く



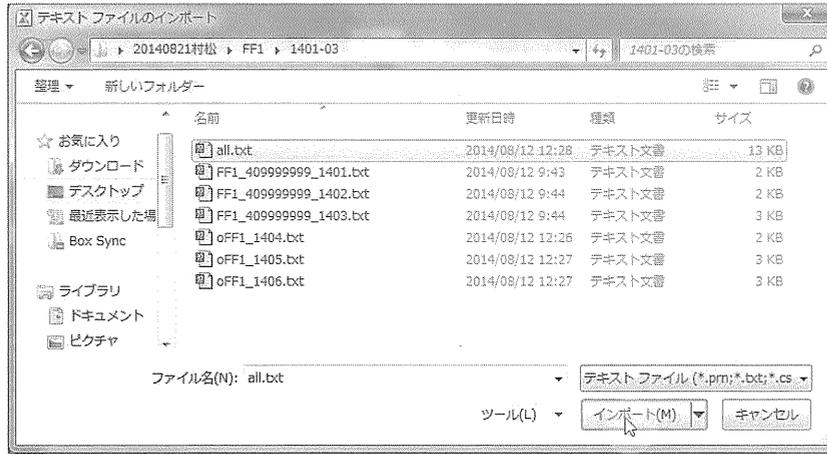
課題3

テキストファイルの読み込み



課題3

結合したファイルを選択



区切り記号付きデータを選択

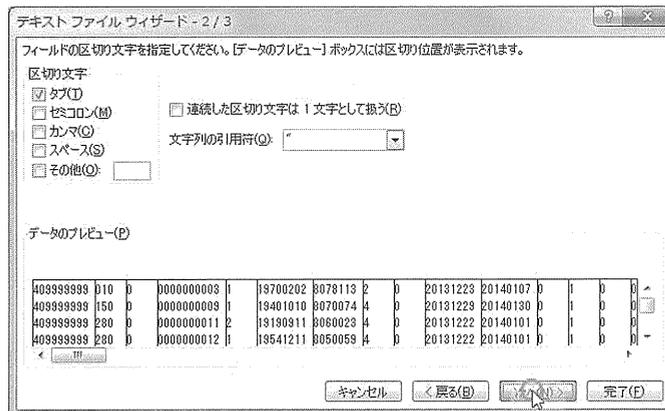


340

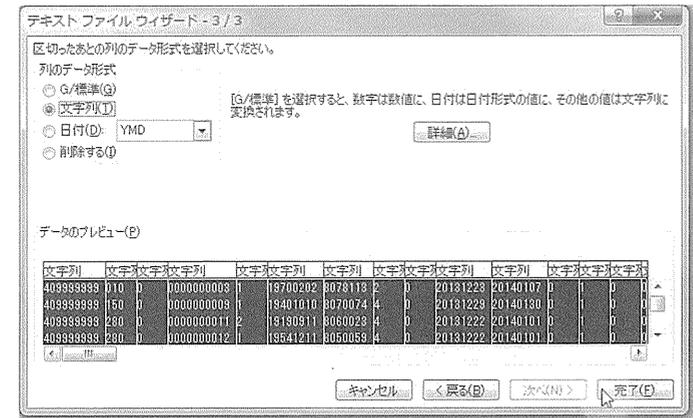
課題 3

課題 3

タブを選択



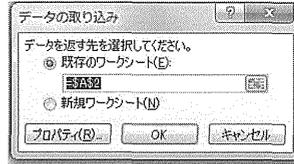
全て文字列で読み込む



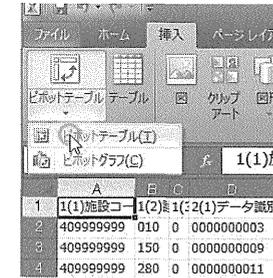
課題 3

課題 3

2行目から読み込む



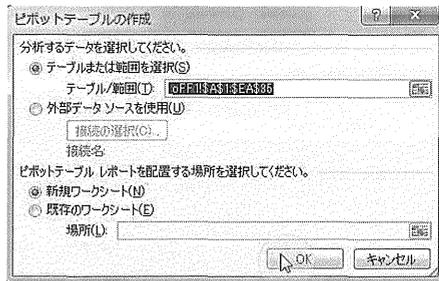
ピボットテーブルの作成



341

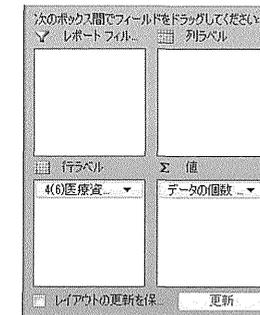
課題 3

データ範囲は全て



最初の設定

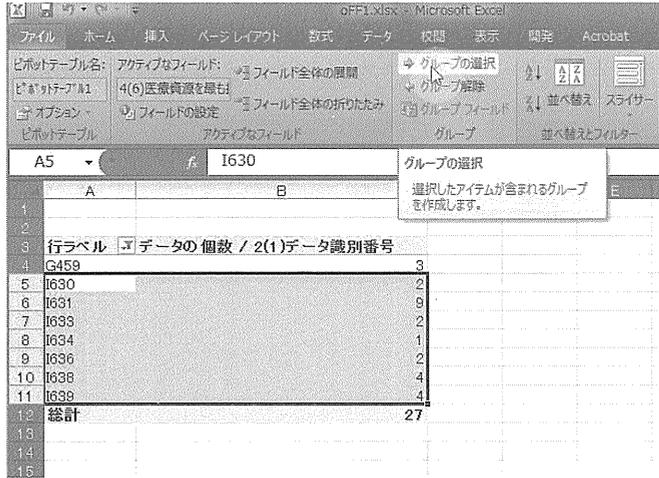
課題 3



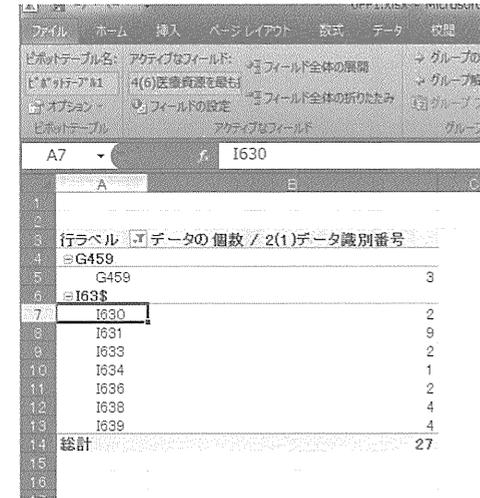
課題 3

課題 3

行のグループ化



ラベルの変更も可能



342

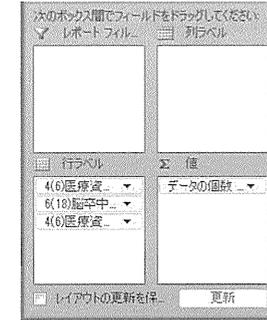
課題 3

課題 3

グループ化後の状態



脳卒中の発症時期を追加



課題 3

課題 3